

地下閉鎖空間での救助活動での「状況把握が困難」「無線通信機器の使用が困難」「二次災害危険が大きい」などの特性により、地上での活動とは異なる課題・ニーズがある。

区分	現場活動の課題・ニーズ	
状況把握	ガス分布の把握	・ ガス分布を把握し、活動リスクを評価
	地下内部の把握	・ 進入前に遠隔からの要救助者の検索 ・ 地下内部構造を立体データ化し、安全ルートを確保
情報通信	円滑な情報伝達	・ 地下空間の隊員と円滑なコミュニケーション
二次災害防止	地中構造の把握	・ 地盤の空洞や劣化箇所を把握
	地盤などの崩落監視	・ 崩落の前兆の早期検出
隊員の安全管理	映像共有	・ 隊員視点の映像をリアルタイムで共有 ・ 映像による指揮判断の支援
	位置情報の把握	・ 隊員の位置を把握し、迷失を防止
	隊員の体調把握	・ 心拍・体温等の変化を把握し、体調不良を早期に発見

※ 令和 7 年 6 月に全国の消防本部を対象に実施した調査の結果を基に作成